

越廼・安八教育交流2012（ふれあいHAPPY交流inこしの）

牧小中学校

7月26日（木）・27日（金）の2日間、牧小5年生（13人）が福井市越廼地区の「ガラガラ山キャンプ場」で、越廼小5年生（9人）と交流を深めました。この交流は、平成10年から始まり今年で15回目となりました。

一日目、5月に行われた「越廼交流イン安八」で仲良くなった越廼小の児童との再会となる歓迎会の後、赤坂海浜公園で磯遊びをしました。越廼の澄んだ美しい海に歓声を上げながら、カニ、ヤドカリ、サザエなどを実際に手に取り、興味深く観察しました。

昼食後、越廼地区の漁業協同組合の方より漁について説明を受け、全員ライフジャケットを着用し、定置網漁船に乗船し出発しました。暑い中、二艘



▲磯遊びを楽しむ子どもたち



▲定置網漁の見学に向かう子どもたち

の船による定置網漁を間近に見せていただき、仕事の大変さを肌で感じる事ができました。帰港した漁船から、次々に水揚げされる魚を手際よく仕分けする漁港の人々の活気あふれる姿も見学しました。引き続き、ヒラメの養殖場では、県職員の方よりヒラメの栽培漁業について説明を受けた後、ヒラメの稚魚を放流しました。いずれも社会科におけるわが国の水産業の学習に役立つ体験でした。

キャンプ場に戻り、宿泊班ごとに分かれて夕食のカレーを作りました。協力して作った「友情カレー」はとてもおいしく、いつもよりみんなもりもりあなかいっぱい食べました。夕食後は、レクリエーションを楽しみました。



▲海水浴を楽しむ子どもたち

二日目は、待ちに待った蒲生海水浴場での海水浴でした。晴天に恵まれ、子どもたちは準備体操を入念にしながら、早速、海に飛び込み、「冷たい、気持ちいい、しょっぱい。」と大喜びでした。プールとは違った海での楽しい時間を堪能しました。

昼食は、越廼小の保護者のみなさんのまごころのこもった手作り料理をいただきました。最後に越廼小でお別れ会が行われ、「越廼でお世話になったみなさんに感謝します。越廼のみなさんとの友情の絆をいつまでも忘れません。ありがとうございました。」とあいさつし、今年の交流を終えました。



▲大いに賑わっているイベントブース

つどいサマーフェスティバル

青年のつどい協議会

8月11日（土）総合体育館で、青年のつどい協議会（富田貴文会長）の主催による「つどいサマーフェスティバル」が開催されました。

この事業は参加したすべての世代の人たちがさまざまな出会いや体験を通じ、未来への希望と明日への活力に満たされることを目的として実施されました。

当日は、「鮎のつかみどり」や「星空シアター」、「射的」等数多くのイベントブースや「フライドポテト」や「フランクフルト」等の飲食ブースが設けられ、千三百人以上の参加者があり、大盛況でした。